

利根保健生協 2020年5月現勢

生協組合員……………29,101人
 出資金額……………1,652,395,000円
 平均出資金額……………56,781円

理事32名 監事4名 総代212名 班長1,508名

*5月の新規加入組合員数は、24人でした。

利根の保健

発行人 糸賀俊一 編集 「利根の保健」編集委員会
 発行部数 21,770 印刷 有限会社コトブキ印刷

利根保健生活協同組合
 〒378-0053 沼田市東原新町1861番地1
 ☎0278(22)6060 FAX(22)6262

利根中央病院 沼田市沼須町 ☎(22)4321
 片品診療所 片品村鎌田 ☎(58)3910
 利根中央診療所 沼田市西原新町 ☎(24)1202
 利根歯科診療所 沼田市高橋場町 ☎(24)9418
 生協みなかみ歯科 みなかみ町後閑 ☎(25)3399
 介護老人保健施設とね 沼田市東原新町 ☎(22)8855
 サニーホームひまわり 沼田市高橋場町 ☎(22)3223



「3か年計画」 仕上げの年

原澤専務理事より第1号議案から第6号議案まで一括して提案されました。

2019年度は、3か年計画の実践の年と位置付け、安心して住み続けられる地域としてどう支えるかということでした。周産期医療が安心してできる体制、特養の建設も在宅分野ももしっかりと取り組まされてきました。

各支部の活動では地域の行事に参加して健康チェックなどが行なわれたり、はじめて配布者

第44回通常総代会

安心して住みつづけられる地域に

第44回通常総代会が6月20日(土)、利根中央病院研修室で開催されました。今年度は新型コロナウイルスによる影響で3密を考慮し、212人の総代の中から各支部代表1人の出席で行われました。2019年度まとめと2020年度方針・予算、6議案のすべてが採択されました。

中村秀夫総代、金子れい子副総代の議長で進行され、総代(実出席23人、書面議決185人)にて議決されました。

交流会を開催した支部もありました。また研修旅行で組合員どうし、職員との交流もできました。この一年理事会の委員会でも様々な取り組みをしてきました。医師へのふるまい会、群馬県で統一した健康チャレンジ、特に利根でのキッズチャレンジは1000人以上の方が参加。平和社保ではSDGsをテーマに「コープぐんま」と連携した行動をおこなうことができました。まちづくりでは子ども食堂の継続、土曜シャトルバスの買付物支援助もはじめました。また「くらしの助け合い」活動も件数は少ないですが、「地域の困った」への手助けになっています。つながる、つなげるを実践して事業と運営で黒字化へと繋がってきたと思います。

2020年度方針

2020年度方針については2面、3面を参照。

事前発言・意見・感謝の言葉

文書による質問、意見は8件ありました。

(抜粋)

1 医師との対面診療がベストですが、ウイルス流行期等はオンライン診療し、薬を宅配していただける仕組みをつくっていただけませんか。

回答 今回、病院の外來診療期間は電話診療と電話処方を実施して

2 班会のガイドラインを示していただきたい。保健生協の要は班会と考えています。

回答 国のガイドラインに沿った注意点を提示し、7月からの運用開始をめざしています。

3 生協強化月間」時の地域訪問について、家を訪問して対面でお金のやりとりをするのは、職員の感染リスクの観点からやめた方がいいのではないかと。

回答 地域訪問は、困りごとを聞くなど対話を行う重要性もあります。但し、コロナ禍の状況でどういった形がふさわしいか医療福祉生協連等の方針や国・県のガイドラインを参考に、理事会を中心に検討していきます。

4 コロナウイルス陽性患者を受け入れたことによる患者の減少が心配されます。病院側の今後の対策計画を知りたいです。

回答 利根中央病院では、通常診療を3週間休止した影響ももちろん大きいですが、コロナ禍による受診控えが全国の現象となつています。当院では、患者さんに安心して来院していただくよう感染対策を強化していただきますので、ぜひご利用していただくようお願いいたします。緊急事態として受け止め、全職員で経営改善にとりくんで参ります。

5 この間、治療のため真剣に取り組んでくれた職員のみならず、感謝と御礼を申し上げますとともに、心無い中傷等もあるようですが、組合員のほとんどは、みなさんの味方です。今回の定額給付金は全国民に給付されることになりましたが、経済的にどうしても給付金に頼らなくてはならないという人がかなり多いのではないのでしょうか。今後の私たちの命と健康を守るためにも、地域の医療機関を守っていかねばならないというところに「出資」をしていただくという運動ができませんでしょうか。

回答 私たちの医療活動に対して、ご理解や激励のメッセージをありがとうございます。一項目として、「地域の医療・介護を支えるため、増資や寄付を訴えます」と活動指針を提示しました。当生協のほとんどの事業活動は大きな経営ダメージがあり、年間を通して数億円の減収が予想されております。コロナ禍において、様々な業種や地域全体がかつてない影響を受けておりますので、可能な方からのご協力は、呼びかけてまいります。

6 出資金の活用方法を「今年度はこういう医療機器を買いたい。そのためにいくら必要」として出資を募るのはどうでしょうか。

回答 医療機器の購入や設備の充実はもちろん、健康やくらしを支える生協活動の元手として活用しており、特定の物の使用にはなじみにくく、様々な機会を活用して「このような物に活用しました」という報告はほめていきます。

7 生協では、全組合員に対する生存または現存等を確認するための通知発送を実施されていないと思えます。3年に1度位の通知を発送し把握できる対応をするべきと考えます。

回答 必要な課題として認識し2018年度から段階的に所在

総代会表彰

表彰規定に基づき、模範となる活動を表彰しました。

支部表彰

【組合員増やし】
 ・利南 ・利根北

【班会開催】
 ・月夜野西 ・白沢
 ・沼田東 ・利根北
 ・薄根

【担い手づくり】
 ・月夜野東 ・須川
 ・利南 ・昭和南

班表彰

【班会の部】
 ・月夜野いきいきサロン

【サークル活動】
 ・平川GG愛好会
 (グラウンドゴルフ)
 ・追貝12会(福老体操)

・白沢

あぜ道

昨年末に中国武漢から始まった新型コロナウイルス感染症の津波は日本などアジアのみならず、欧米諸国を巻き込んで大騒動である。死亡率が2%〜10%と高く、日本でも4月に緊急事態宣言が出された。利根中央病院では、職員への感染が発生したが患者様には拡散することなく、くい止めることができた。この騒動は6月になっても多方面にわたり教訓を日々与えてくれるが、私は2点だけ挙げたいと思う。一つは政治が健康被害を大きくするという事実である。危険な感染症である事実を政治的思惑で伝えなかったり、矮小化することが如何に大きな厄災をもたらせたかと後世の人は語るであろう危険な政治を大きな勢力にしないために、声を上げる勇気と努力が必要である。もう一つは日本の医療や技術を我々が育てる努力をしていかなかったことである。政府は急性期医療と病床を削減するために努力をしてきた。それを何となく容認してきたこと、それが起きるまで作られていなかったのかと呆れている。いざれも中小企業が身を削る思いで造ってきたものが消えていたのだから、われわれ日本人が日本製品の品質が良いが高いからと言って買わなかったつけである。自国の産業を保ち、そして伸ばすために我々はもっと努力をすべきではなかったのだろうか。ウイルスという「見えない敵」を目の前にして

お知り合い、ご近所「見守り活動」

できる範囲で以下のことをご協力お願いいたします。

1 日常的に電話でのやりとりやご近所であればマスクなどをして「お元気ですか?」「困っていることはありませんか?」の声かけのご協力をお願いいたします。

2 外出自粛で病院の受診を控えずぎて、救急車で運ばれてくる事例も最近では起きています。適切な受診を心がけましょう!

*ご心配な方がおられたり、困りごとがありましたら 生協くらしサポートセンター 22-2300 へご連絡ください。

模範活動表彰

2月末の時点で700件以上の訪問を行い、多くの組合員と対話でつながり出資者割合30%達成した支部

・月夜野東 ・月夜野西

支部の「みせる化」の実践で、「支部ユース」発行を、自分たちで分担して複数回以上発行した支部

・利南 ・白沢
 ・昭和南 ・池田
 ・薄根

機関紙配布者ふやし(目標達成。実績9人)、「支部ユース」の発行(年4回発行) 毎月の支部運営委員会開催、JA東部支店でのまちかど健康チェック、組合員台帳の整理や「つながりマップ」作成、計画的な地域訪問活動など、総合的に支部活動を前進させた功績に対しての支部

総代より文書発言

「新型コロナウイルス後の社会と利根保健生協の役割」についてありました。

回答 文書発言として受け止めました。当生協の理念「健康をつくる。平和をつくる。こころ豊かなまちをつくる」の実践・実現に向けて、あらゆる団体や多くの人たちと手を結び、いのちとくらしを守り、健康をはぐくむ活動にとりくんでまいります。

お知り合い、ご近所「見守り活動」

できる範囲で以下のことをご協力お願いいたします。

1 日常的に電話でのやりとりやご近所であればマスクなどをして「お元気ですか?」「困っていることはありませんか?」の声かけのご協力をお願いいたします。

2 外出自粛で病院の受診を控えずぎて、救急車で運ばれてくる事例も最近では起きています。適切な受診を心がけましょう!

*ご心配な方がおられたり、困りごとがありましたら 生協くらしサポートセンター 22-2300 へご連絡ください。

総代会表彰

表彰規定に基づき、模範となる活動を表彰しました。

支部表彰

【組合員増やし】
 ・利南 ・利根北

【班会開催】
 ・月夜野西 ・白沢
 ・沼田東 ・利根北
 ・薄根

【担い手づくり】
 ・月夜野東 ・須川
 ・利南 ・昭和南

班表彰

【班会の部】
 ・月夜野いきいきサロン

【サークル活動】
 ・平川GG愛好会
 (グラウンドゴルフ)
 ・追貝12会(福老体操)

・白沢

あぜ道

昨年末に中国武漢から始まった新型コロナウイルス感染症の津波は日本などアジアのみならず、欧米諸国を巻き込んで大騒動である。死亡率が2%〜10%と高く、日本でも4月に緊急事態宣言が出された。利根中央病院では、職員への感染が発生したが患者様には拡散することなく、くい止めることができた。この騒動は6月になっても多方面にわたり教訓を日々与えてくれるが、私は2点だけ挙げたいと思う。一つは政治が健康被害を大きくするという事実である。危険な感染症である事実を政治的思惑で伝えなかったり、矮小化することが如何に大きな厄災をもたらせたかと後世の人は語るであろう危険な政治を大きな勢力にしないために、声を上げる勇気と努力が必要である。もう一つは日本の医療や技術を我々が育てる努力をしていかなかったことである。政府は急性期医療と病床を削減するために努力をしてきた。それを何となく容認してきたこと、それが起きるまで作られていなかったのかと呆れている。いざれも中小企業が身を削る思いで造ってきたものが消えていたのだから、われわれ日本人が日本製品の品質が良いが高いからと言って買わなかったつけである。自国の産業を保ち、そして伸ばすために我々はもっと努力をすべきではなかったのだろうか。ウイルスという「見えない敵」を目の前にして

「見えない敵」を目の前にして

(利根中央病院院長 大塚)

2019年度のまとめと

2019年度テーマ

3ヵ年計画実践の年、組合員・職員とともに、つながる・つなげるを広げ、質の高い事業と運動で地域のくらしを支えます。

2019年度全体のまとめ

- 「安心してすみ続けられる地域」を支える事業と運動が前進しました。
利根中央病院では北毛地域の周産期医療を守り、地域の救急医療にも大きく貢献しました。「とね虹の里」との連携や在宅医療分野のとりくみも前進しました。
- 支部ニュースの発行や会議の定例化、配布者ふやしも前進し、支部主催のまちかど健康チェックや支部の「のぼり旗」や新春交流会等で生協の「見える化」がすすみました。
- 各事業所の「質の向上」へのとりくみ、組合員の利用結果の促進と各事業所の独自経営活動とが相まって、新病院建設以来年間を通じて初めての経常剰余を確保することができました。
- 全体として、地域との、支部での「つながる・つなげる」が広がり、あって良かった利根保健生協の事業と運動の広がりを実感できるものとなり、その成果が経営改善にもつながりました。



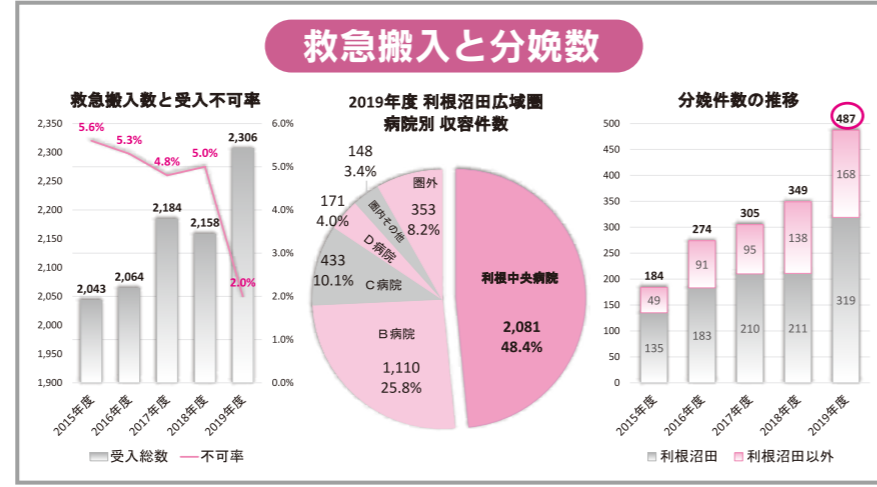
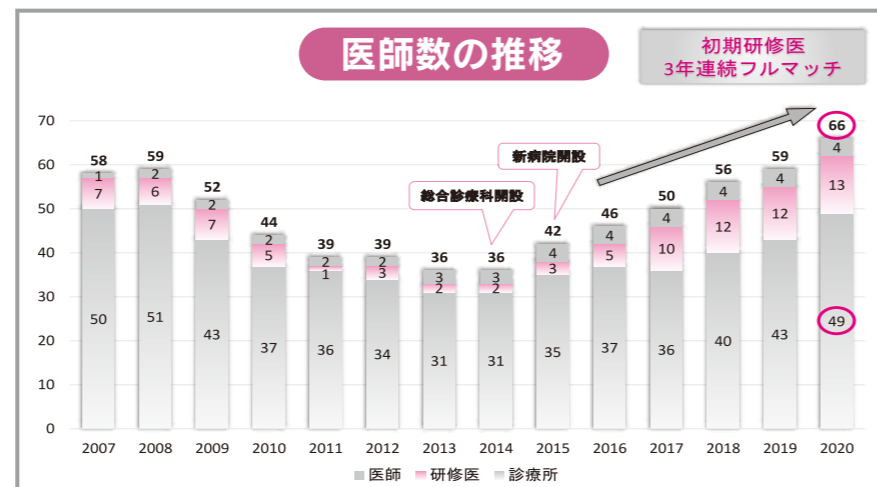
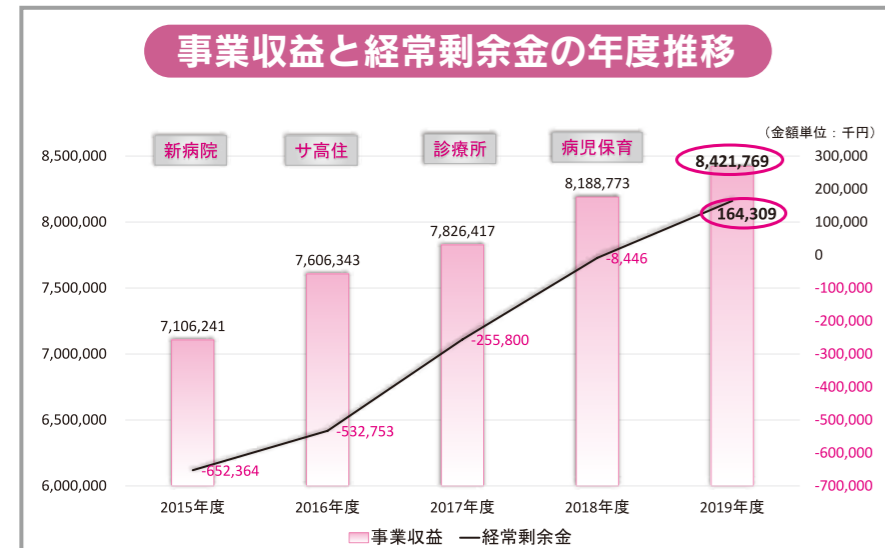
利根保健生協 昭和東支部だより

文化祭での健康チェックに80人
利根中央病院に続き、昭和東文化祭でも、東毛地区に新しい健康チェックを行いました。80人以上の方々に健康チェックにご協力いただきました。

大河原小の「手洗い教室」に78人
3月26日には、大河原小学校より依頼があり「手洗い教室」が開催され、19名のお子さん、34名のお母さん、54名のお父さんが参加、新米選挙や選挙啓発が1手に挙げていただきました。

生活強化月間「地域訪問」ご協力のおねがい
大河原・長者久保地区へ2月5日・7日夜
有年、有学とご縁を4日間、東毛に活動の中心を移して訪問し、地域訪問に際しては様々なご意見を伺うとともに、健康や介護に役立つご協力をお願いしました。

組合員交流会
3月14日(土) 昭和村公民館ホール
組合員・支部運営委員に
3月15日まで、東毛地区の組合員(任期2年)の交代準備を進めています。昭和東支部の定期総会です。



くらしの助け合い活動

支部を単位に! 「困った」の助け合い

2019年度実績 → 相談件数 30件 対応件数 13件

健康づくり活動

水上中学校保健講話 保健講話実績 小中学校11校 (計15回)

禁煙ポスターコンクール
升形小学校手洗い教室 手洗い教室実績 小学校10校 (計25回)

平和・社会保障活動

虹のパレンティン行動

国民平和大行進①
国民平和大行進②
福島被災地視察

2020年度 活動方針

2020年度の位置づけ

- 現「3ヵ年計画」の仕上げを行う年です。
- 新たな事業展開を含めた、次期「3ヵ年計画」を策定する年です。
- 新型コロナウイルスや診療報酬改定等への対応が求められる年です。
- SDGsのとりくみをすすめ、「利根保健生協のSDGs宣言」づくりをする年です。

第44回 通常総代会スローガン

1. 生協本部周辺の土地活用計画を地元住民・組合員とともに具体化し、地域のまちづくりに貢献します。
1. SDGs実践の一環として「なんでも相談窓口」を設置し、「誰一人取り残さない」を広げます。
1. 「つながる・つなげる」を健康づくりに生かし、丈夫で長生き「フレイル予防」につなげます。
1. 全事業所が事業の質の向上を基礎に、必要剰余確保を目指して、健全な事業経営を実践します。

主な事業計画

- 救急受入強化のために救急病床を設置
- 医科診療所の建設計画の具体化
- 総合支援センターの体制強化で「病病連携」「病診連携」を推進
- 組合員とともにとりくむまちづくり計画



生協活動

- 事業所や支部に「何でも相談窓口」を設置
- 生協くらしサポートセンターの役割を高め、くらしの困ったを解決する
- アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)の推進
- 生協独自のSDGs宣言で、「フレイル予防」「オーラルフレイル予防」のとりくみを



経営計画

- 予防事業の軸として、健診事業の強化
- 診療所のかかりつけ医機能の充実で外来分野の収益増
- 診療所や介護事業所における、訪問系事業のさらなる強化
- 介護事業の入所、通所で、剰余を生み出す構造づくり



利根中央病院

- 急性期病床を維持するため救急医療を充実
- 周産期医療を守るため急増した分娩に対応できる体制を維持
- 地域医療連携としての営業活動を強化し、紹介・逆紹介率 30%を達成

利根中央診療所

- 地域のかかりつけ診療所としての役割を發揮
- 在宅療養支援診療所として、訪問診療をより積極的に展開
- 地域連携、事業所間連携の強化を図り、患者・利用者増につなげる

片品診療所

- 自治体等と連携して、健康を守るとりくみを積極的にすすめる
- 医科・歯科診療の強みを生かして、サービスの向上に努める
- 生協活動の発展のために、支部役員や利用委員と各種とりくみに参加

利根歯科診療所

- 「一生自分の口から食べる」を守る活動に全面的にとりくむ
- 安心・安全・信頼の歯科医療、納得・満足のいく歯科治療の追求
- 健康寿命延伸のために、オーラル・フレイル予防を多くの場面で広める

生協みなかみ歯科

- 患者満足度を上げるよう待ち時間・接遇を意識したとりくみを行う
- 地域の施設と協力し、地域包括ケアに対応できる事業所運営を行う
- 社会保障制度充実の呼びかけや、組合員の健康を守るとりくみを継続

とね訪問看護ステーション

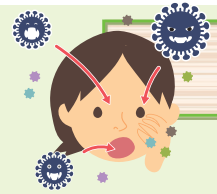
- 「断らない訪問看護」の実践をめざし、小児から看取り対応まで多様なニーズに応える

居宅介護支援事業所

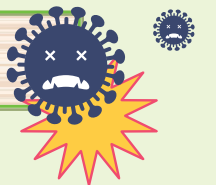
- 幅広く利用者のニーズに応えられるよう、ケアマネジメントの拡大を図る

介護老人保健施設とね

- 自立した在宅生活が継続できるよう、総合的に支援し家族の介護負担の軽減に努める
- 「超強化型」の維持と、ベッド稼働一日平均 48.0 人をを目指す
- 短時間通所リハビリの拡大を行い、地域のニーズに合ったサービスを行うことにより利用者確保と安定した経営を行う



お口の健康はウイルス感染防止に効果的



歯科医院でプロフェッショナルケアを受けてみてはいかがでしょうか

今こそ口腔ケアで健康づくりを

新型コロナウイルスの影響から全国で緊急事態宣言が発令されて歯科の治療を自粛されていた方が多いのではないのでしょうか。お口を清潔に保つことでウイルス感染予防に効果があることが各大学の教授から発信されています。

日本歯科新聞の主張「今こそ口腔ケアで高齢者の健康づくりを」では歯科治療や口腔ケアを行うことで新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低下させることが紹介されています。

毎日の歯みがきのセルフケア、歯科医院で行うプロフェッショナルケアを行うことで新型コロナウイルス感染症の予防にもなるのです。

しばらく歯科受診をされていない組合員さんはぜひお口の点検、虫歯と歯周病の治療を行い、プロフェッショナルケアを受けてみてはいかがでしょうか。

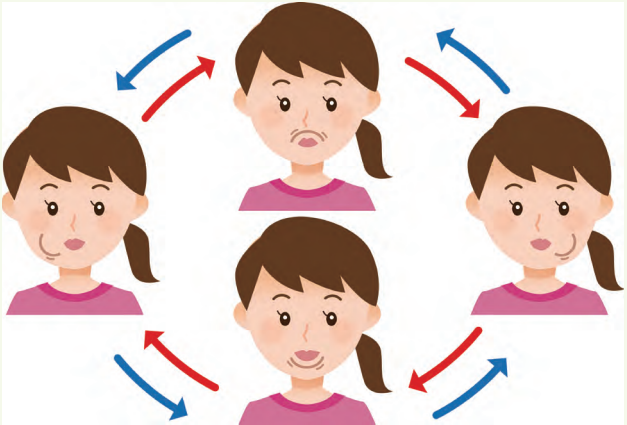
利根歯科診療所、生協みなかみ歯科、片品診療所では、安心して受診できます。

ベロ回し運動で舌の筋力UP

マスクをしてもできる オーラルフレイル予防

常時マスクの中で口呼吸の方が増えていると思います。しっかり舌を鍛えて口を閉じ鼻呼吸で健康を維持しましょう。

- 口を閉じて外側の歯ぐきを舌でなぞります ●



- ①まずは右回し 20回
- ②次に逆回転の 20回

マスクの下は鼻呼吸？口呼吸？

毎年6月4〜10日は「歯と口の健康週間」です。今年度の標語は「咲かそうよ 笑顔の花を 歯みがきで」ということで医療福祉生協連でも「ベロ回し運動で舌の筋力アップ」を紹介しています。感染症予防のためのマスクを常時していることで本来の鼻呼吸が口呼吸になっていきます。

感染症予防には鼻呼吸をすることが必要で舌を鍛えて上あごにつけることがとても重要になります。そのためには今井彰先生考案の「あいうべ体操」が効果的です。昨年講演をしていた岡崎好秀先生は「マスクの下お口開いていませんか？」という記事を書かれており「あいうべ体操」と「朝起きてすぐの歯みがき」を推奨しています。

利根歯科診療所 ☎24-9418
生協みなかみ歯科 ☎25-3399
片品診療所 ☎58-3910

利根中央病院 大腸内視鏡検査の前処置が自宅でできるようになりました!!

今までは検査前の処置を病院で全例行っていましたが、全国的に自宅での処置が主流になってきました。当院でも今年度より条件を満たす方は自宅で前処置を行えるようになりました。詳細につきましては各科外来、内視鏡室にお問い合わせください。

老健とね・とね虹の里「オンライン面会」開始

今回、ご家族の面会方法として「オンライン面会」を開始しました。モニター越しに直接顔をみながら話ができます。感染対策が長期化する中で入所者とご家族が安心して生活ができるようにサービスの向上に取り組んでいきます。



今年の国民平和行進は宣伝カーでアピール

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため歩きによる大行進は行いません。7月12日(日)、16日(木)は、利根沼田地域は宣伝カーで巡行し核兵器廃絶や平和への願いを込めてスタンディングアピールをします。

「いい歯の日」作品コンクール

11月8日は「いい歯の日」です。組合員の皆さまと歯と口の健康について考える企画として「いい歯の日」作品コンクールを実施します。歯みがきの大切さや、お口とからだ全体の健康を健康な歯による人生の楽しさ、家族愛が感じられる微笑ましい作品など、オリジナリティあふれる作品をお待ちしています。参加賞含め素敵な景品を用意していますので、奮ってご応募ください。

応募資格…組合員全世代

募集要項…作品のテーマは「歯や口に関わる事」としますが、絵、彫刻、標語、川柳、etc など内容は問いません。歯に関する事を自由に表現してください。

応募締切日…9月末日

応募・問い合わせ先

利根歯科診療所 組織委員会 いい歯の日コンクール係
〒378-0056 群馬県沼田市高橋場町 2002-1 TEL: 24-9418



折り込みの署名にご協力をお願いします

力を合わせる必要を感じたら、署名にご協力ください。署名は、利根保健生協の各事業所へお立ち寄りの際にお持ちください。また、お近くの支部役員や職員へお渡しいただいても結構です。

なかまの作品

俳句

挽ぎ取りて青梅かじる異国人 沼市横塚町 宮田 君子
ブルーベリー茂みに咲ける白き鈴 沼市横塚町 星野 順子
カナ文字を書くこと舞へり恋蜜 沼市高橋場 白井孝四郎
みずすまし水輪重ねて古刹庭 沼市祝田町 平井登志絵
万緑や主峰に残る白き筋 昭和村森下 真下 章子
箭の柔き皮むく手に香り 沼田市柳町 楠淵かりな
コロナ禍にふれず田植多の昼餉どき 川場村生品 乗原あや子
緑さす川の流れにぬらす指 川場村谷地 穴沢 杏子
新緑を胸いっぱい取るマスク 沼市高橋場 林 明男

短歌

マスクして何か言いたき目の動き 沼市中とて会話控えり みなかみ町後閑 番場 正夫
川柳
血税をアベノマスクで浪費する みなかみ町石巻 藤田 俊彦
コロナ禍も一儲けする輩たち みなかみ町根 三國路青猿
青梅や嫁ぎし頃のせはしなさ 沼市柳町 津久井富子
金婚の祝コロナで自宅ピザ 沼市高橋場 大竹 美鶴

作品募集

今月は43件のご応募ありがとうございました。紙面スペースと当季雑誌に沿って掲載させていただきます。なお、乱筆は誤植の原因になりますので、楷書でわかりやすく丁寧に書いてください。
〒三七八〇〇五三 沼田市東原新町一八六一の一
利根保健生協「なかまの作品係」
メール投稿 sukusuku-tone@tonehoken.or.jp

お詫び

6月号での新総代紹介欄で誤りがありました。心よりお詫び申し上げます。以下訂正させていただきます。

沼田東支部

小幡 晋 → 小幡 普

池田支部

大河徳次 → 大河原徳次

薄根支部

小野里友一未 → 小野里友一

水上支部

山崎みち → 木村久子

